

家畜衛生広報ながの

ファクシミリ版

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会

豚流行性下痢の猛威が一向に収まらない！

熊本県でも発生が確認

昨年の秋から国内で発生している **PED (豚流行性下痢)** の感染が拡大しています。1 月 29 日付けの信濃毎日新聞等でも大きく報道され、豚肉の流通等への影響も心配されています。

現在国内で流行している PED ウイルスの株は、2006 年以降にアジア諸国及び 2013 年以降米国で大流行している株と近縁であると報告されています。

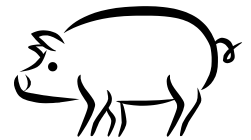
国内へのウイルスの侵入経路は现阶段では不明ですが、感染豚の導入や感染豚の **糞便に汚染された車両や物品による交差汚染** と考えられています。

改めて PED ウイルスの侵入防止対策の再点検をお願いします。

PED (豚流行性下痢) とは

○豚のウイルス性消化器病で、嘔吐と黄色下痢を主徴とします。

○哺乳豚が感染すると脱水によりほぼ 100% が死亡します。



母豚では、下痢と泌乳量の減少、停止を呈します。

○PED は、糞便中に排出されたウイルスの経口感染により伝播し、病原体の農場への侵入は、感染豚の導入や感染豚の糞便に汚染された車両や物品の持ち込みにより起こります。

予防方法は

○汚染農場から豚の導入は絶対に行わないでください。

○農場、と畜場等における入退場時に車両消毒をお願いします。消毒薬は逆性石けん (パコマ等) で十分効果があります。

○毎日の豚の観察を強化し、通常と異なるような下痢や嘔吐、死亡を確認したときは、家畜保健衛生所までご連絡ください。

○汚染農場では、PED ワクチン接種も有効ですが、まずは飼養衛生管理の徹底が基本です。

国内の発生状況

○昨年以降、沖縄県 3 件、茨城県 2 件、鹿児島県 93 件、宮崎県 18 件、熊本県 1 件の合計 117 農場で発生し、約 5,200 頭が死亡しています (1 月 29 日現在)。

○長野県ではこれまで PED の発生はありません。

これまでも長野県畜産広報等で情報提供してきましたが、今後も新たな情報が入り次第、ファクシミリ等により情報提供しますので、ご留意をお願いします。

長野家畜保健衛生所 電話 026-226-0923 ファクシミリ 026-227-2665

問い合わせ・連絡先 長野家畜保健衛生所 (担当: 神田章、小林千恵)



しあわせ信州

掲げたい足元の価値。
広えよう信州から世界へ。